



ふるかわ内科 クリニック通信

2013年
冬号
第11号



院長より

国際標準化に伴いHbA1cが変わります。

皆さんはHbA1cという血液検査の項目を知っていますか？糖尿病患者さんはきっとご存知かと思いますが、これは糖尿病のコントロール状態がわかる大切な検査です。約1～2か月の状態を反映しますので、糖尿病患者さんは主にこの検査値の変化によって病状の変化を知ることができます。

さてこのHbA1cですが日本でのみ使用されているHbA1c（JDS）と国際的に広く使用されているHbA1c（NGSP）があります。昨年から、この国際的に使われている方、つまりHbA1c（NGSP）を使っていこうということになったのですが、国が行っている特定健診の結果は従来のHbA1c（JDS）が使われていました。また人間ドックの結果などもしばしば従来のHbA1c（JDS）による表記が使われていました。つまりこの一年は移行期間ということでもどちらの表記も見かけることが多い状況でありました。このような状況は当初から予想されておりましたので当院では「今年度（2012年度）は患者さんへの説明はすべてHbA1c（JDS）で行う」ということで一貫してきました。（糖尿病手帳には両方の数値を記載していましたが、説明にはHbA1c（JDS）を用いていました。）しかし、いよいよ平成25年4月1日からは特定健診の結果もすべてHbA1c（NGSP）となり、糖尿病学会も「平成25年4月1日をもって日常診療、健診等すべての分野でHbA1c（NGSP）が使用されることから、NGSP値単独表記、使用を推進する」と表明しています。これに伴いまして、**当院でも平成25年4月1日よりHbA1cはNGSP値を使用します。**

HbA1c（NGSP）の値はHbA1c（JDS）におよそ0.4を加えた値となりますのでコントロールの評価とその範囲についても裏面の表のように変わります。これまで多くの方に「A1cは正常値である5.8未満が理想ですが6.5以下なら概ね心配ないですよ」と説明してきましたが4月からは「A1cは正常値である6.2未満が理想ですが6.9以下なら概ね心配ないですよ」と変わるわけです。初めは少し違和感あるかもしれませんがいずれ慣れてくると思います。



内科、糖尿病・消化器内科

ふるかわ内科クリニック

糖尿病学会専門医・指導医 消化器病学会専門医 総合内科専門医

大阪府八尾市跡部北の町3-1-26 久宝寺クリニックビル1F

☎072-943-3307 FAX072-943-3308

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9時～午後12時30分	○	○	△	○	○	○
午後4時～午後6時	○	○	△	○	○	△

休診：水曜日・日曜日・祝日・土曜日午後
経鼻内視鏡あります

ホームページ [ふるかわ内科クリニック](#) [検索](#)

● 血糖管理の指標と評価

コントロールの評価とその範囲

指 標	優	良	可		不 可
			不十分	不 良	
HbA1c(NGSP)(%)	6.2 未満	6.2~6.9 未満	6.9~7.4 未満	7.4~8.4 未満	8.4 以上
HbA1c(JDS)(%)	5.8 未満	5.8~6.5 未満	6.5~7.0 未満	7.0~8.0 未満	8.0 以上
空腹時血糖値(mg/dL)	80~110 未満	110~130 未満	130~160 未満		160 以上
食後2時間血糖値(mg/dL)	80~140 未満	140~180 未満	180~220 未満		220 以上

➡ +0.4% シフト

日本糖尿病学会編：糖尿病治療ガイド2010より引用改変

連 絡 事 項

休 診 案 内

3/23(土) は消化器学会参加のため**休診**です。

糖尿病、高血圧、高脂血症、などの治療の重要な部分である食事療法や運動療法についての相談がある時はいつでもご相談ください。時間を十分とって指導経験のある療養指導士（看護師）が対応させていただきます。

予約することも
できます

